

**スペイン語をマスターすると
可能性が無限大に広がる理由**

Parte1 第1部

スペイン語を取り巻く現状

スペイン語

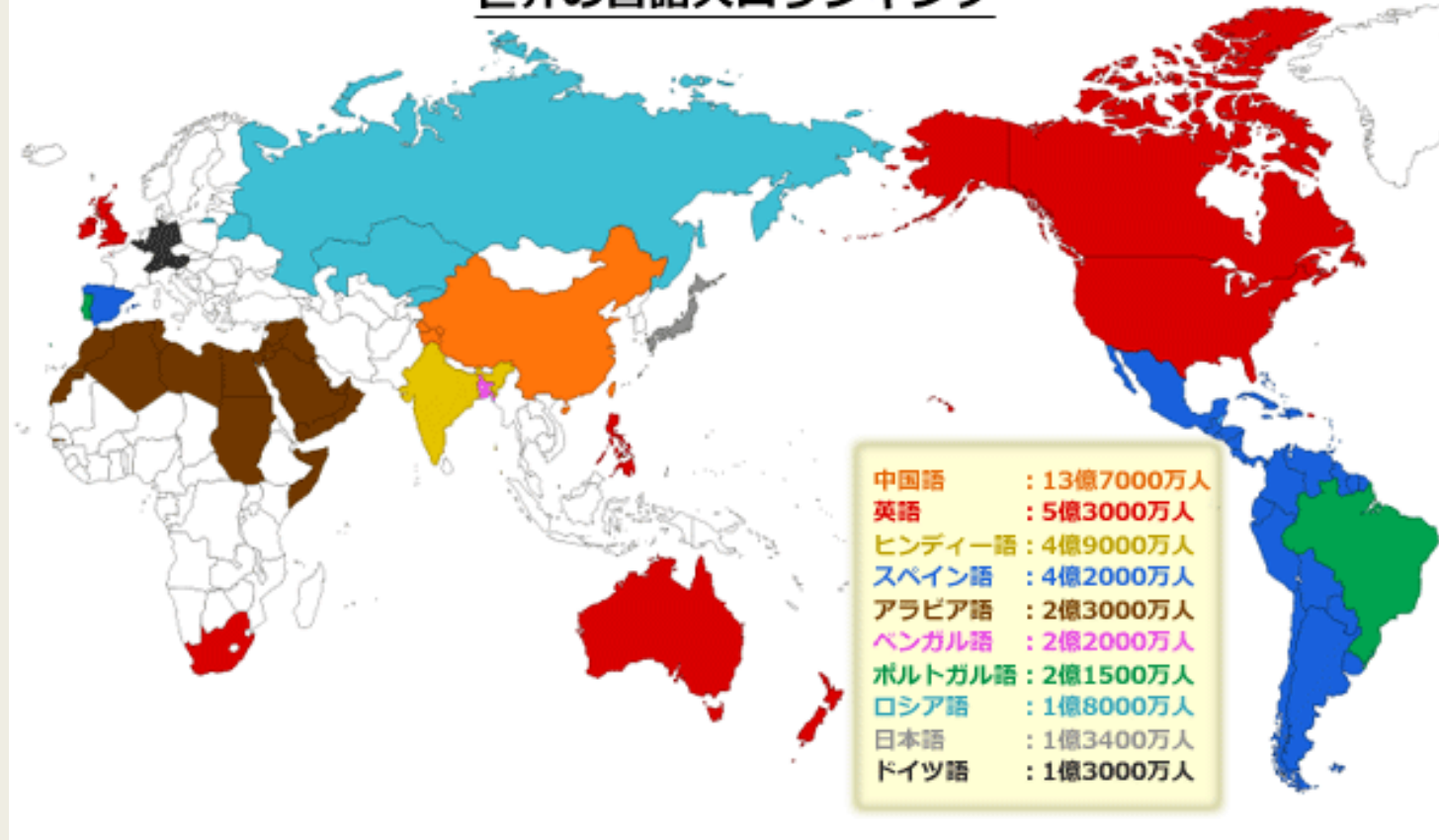
スペイン、旧スペイン植民地である中南米で主に話されており、**21カ国**で公用語として話されている

スペイン語を第一言語とする人が**約4億8,023万人**、第二言語として日常的に話している人も含めると、**約5億7,700万人**の話者がいると言われている

国際連合においては、英語、フランス語、ロシア語、中国語、アラビア語と共に**6つの公用語の1つ**である

インターネットにおいて使用される言語としては、利用者全体の約8%がスペイン語使用であり、英語、中国語に次いで**第3位**である

世界の言語人口ランキング



日本と世界の統計データ
より抜粋

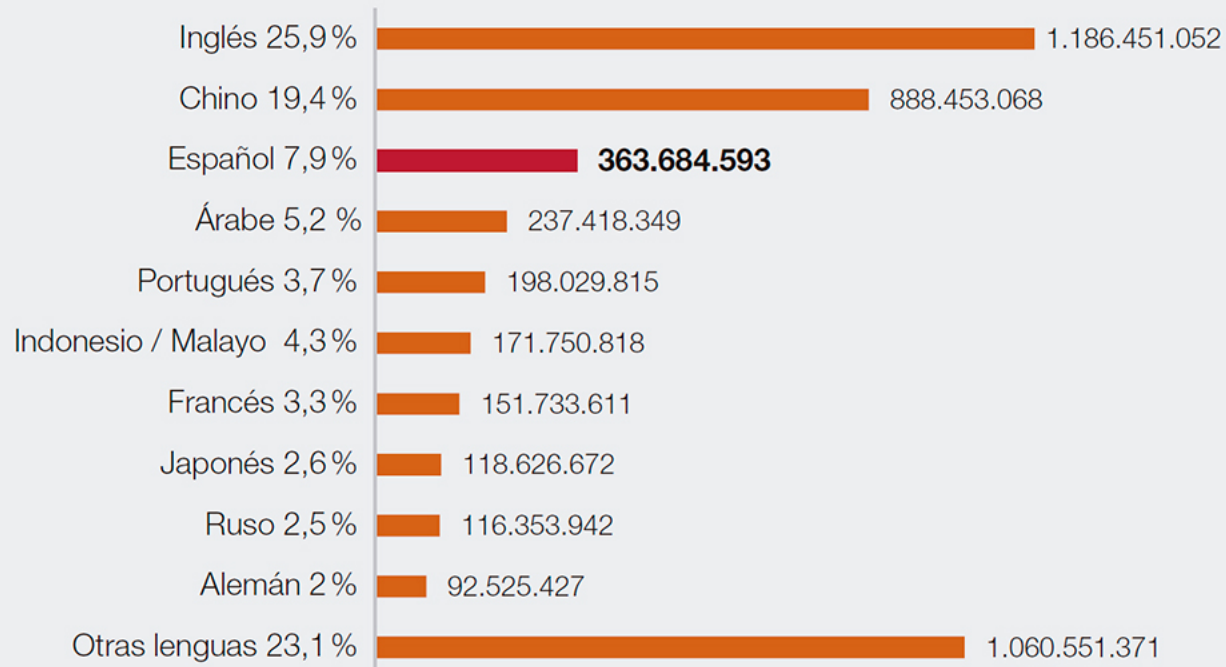
スペイン **メキシコ** グアテマラ **ホンジュラス** エルサルバドル
ニカラグア コスタリカ **パナマ** キューバ **ドミニカ共和国**
プエルトリコ **ベネズエラ** コロンビア **エクアドル** ペルー **ボリビア**
パラグアイ チリ **アルゼンチン** ウルグアイ **赤道ギニア** 西サハラ

スペイン語は4位の4億2000万人である。スペインの人口は5000万人弱で、スペイン以外に中南米の殆どの国で話されている。日本ではあまり知られていないが、世界的には**英語に次いで重要視されている言語**である

ブラジルではポルトガル語が公用語であり、中南米では例外的存在である。ただ、スペイン語とポルトガル語は単語や文法などが共通点が多く、**お互いの言葉は概ね理解できる**と言われている

GRÁFICO 35

Lenguas más usadas en internet por número de usuarios (marzo 2020)

Instituto Cervantes より抜粋
(スペイン政府公的機関)

インターネットでの使用言語としては、英語（25.9%）、中国語（19.4%）に次いで、スペイン語は**第3位**で**7.9%**である

つまり、日本語だけではなく英語とスペイン語が出来れば、オンライン上の3分の1以上のユーザーとの**コミュニケーション**や有益な**情報交換**が可能になる

アメリカでのスペイン語の現状（日本にとって一番大事な国）

アメリカでは、スペイン語人口はヒスパニックと言われるスペイン語系住民で構成されており、**5,500万人**を超えているとされている。

（2019年ラテンアメリカ協会より抜粋）

実は、アメリカはメキシコに次いでスペイン語話者が世界で2番目に多く、アメリカのスペイン語人口は2050年までに**1.3億人**に達し、世界最多になると予想されている。

実はアメリカには国・連邦レベルでの公用語は定められていない。しかし、州単位ではアメリカ50州のうち30前後の州が英語を公用語としている

そして、アメリカ国勢調査局のデータによると、アメリカの50州のうち**43州**で、**スペイン語が第2言語**となっている

Most Commonly Spoken Language Other than English



Data source: Census Bureau American Community Survey. Map by Ben Blatt/*Slate*.

つまり、アメリカで最も多く学ばれている言語である

⇒ 英語が話せなかったとしても、スペイン語を話せばアメリカでもコミュニケーションが取れる可能性がかなり高い

アメリカの空港では、案内や表示は英語であるが、**スペイン語での案内や表示**もされている

私、宮崎はニューヨーク経由でペルーのリマへ行った時、ヒューストン経由でコロンビアのボゴタへ行った時、アメリカの両方の空港ではスペイン語表記での案内がされていた

また、地域によっては、レストラン等でスペイン語のメニューが用意されていることが多い これは、旅行程度であれば、スペイン語が出来ればアメリカではそれほど困らない、ということを意味している

Parte2 第2部

スペイン語を学ぶ
メリット

まず、日本人は、英語学習で思うように成果を上げられずに悩んでいる人が多い。原因はいくつか考えられるが、その一つの要因となっているのが、
【発音の難しさ】である

自分では正しく発音しているはずなのに、**外国人に通じず**、恥ずかしい思いをしたり悔しい思いをしたりして、こういった経験がキッカケで心が折れて諦めてしまう学習者はとても多い

では、スペイン語はどうなのか？

実はスペイン語は日本人にとって、とても**話しやすい言語**であり、英語のように、外国人に通じない、ということはまずあり得ない

少なくとも、発したフレーズが正しければ、**必ずネイティブに理解してもらえる**。ここが、英語とスペイン語の決定的な違いとなっている

発音が下手だという心配や恥ずかしい思いをすることがない

なぜ、スペイン語は日本人にとって話しやすいのか？発音で苦労しなくて済むか？

- ・ **母音の数が日本語と同じだから**

日本語「あ」「い」「う」「え」「お」

スペイン語「**a** : ア」「**e** : エ」「**i** : イ」「**o** : オ」「**u** : ウ」

これに対し、英語の母音は16個、中国語に至っては36個と言われている

- ・ **発音が簡単だから**

スペイン語は英語に比べると、発音が遥かに簡単である。それは、基本となるルールや特徴が分かりやすく、例外が少ないからであり、**ローマ字読み**で殆どの語句が通じる

例えば、agua というスペイン語は、「アグア」と読めば正解であり、mascota は「マスコタ」と読めば良い

このように、スペルをそのままローマ字読みすれば良く、日本語と音が似ている単語が多いため、日本人には発音しやすく、聴き取りも英語に比べると遥かに容易である

つまり、日本人にとって、とても話しやすい言語であり、日本人にとってスペイン語は**相性がとても良い**言語である

ここまでの内容を確認に変えるために、以下の動画を公開します

<https://youtu.be/0ZCAYS3vSpo>

Parte3 第3部

スペイン語を学ぶ メリット（2）

スペイン語の歴史

スペイン語は**ロマンス語（ラテン語から派生した言語）の一つ**であり、ラテン語から発展した。イベリア半島でラテン語が進化し、中世から近代にかけてスペイン語として確立された。その後、スペインの植民地支配や移民の影響により、スペイン語はラテンアメリカの多くの国々で広まり、現在では**ラテンアメリカで最も話されている言語**となっている

ラテン語とは？

ラテン語（Latin）は、古代ローマで話されていた言語であり、ローマ帝国が存在した時代において、ラテン語は**広範な地域で使用**され、行政、法律、文学、宗教などのさまざまな分野で**重要な役割を果たした**。

ラテン語はインド・ヨーロッパ語族に属し、イタリア半島のラティウム地方で発展し、その後、ローマ帝国の拡大とともに他の地域に広がり、各地で**地域の言語や方言との影響を受けながら進化**した

⇒ ロマンズ語（**スペイン語** **ポルトガル語** **フランス語** **イタリア語** **ルーマニア語**など）に発展

ラテン語の語彙は**英語や他のヨーロッパ言語に影響**を与え、多くの言葉がラテン語の起源を持っている

現代では、ラテン語は自然に話される言語としては使用されていないが、学術的文書やカトリック教会の儀式などで使用されることがある。

また、ラテン語は法律や医学、科学の専門用語としても広く使われている

ロマンス語 (Romance languages)

ラテン語から派生した言語のグループのことであり、これらの言語は、古代ローマ帝国の領土に広がり、**地域の言語や方言と融合しながら進化**した

主なロマンス語には、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、イタリア語、ルーマニア語などがある

ロマンス語は、ラテン語の一部を保持しながらも、独自の変化と発展を経て、新しい言語体系が形成されました。これらの言語は、**共通の起源**を持ちながらも、**地域ごとに異なる発展**を遂げ、独自の文法、語彙、発音の特徴を持っている

ロマンス語はスペイン語、ポルトガル語、フランス語、イタリア語、ルーマニア語など、ラテン語から派生した言語の総称であり、これらの言語は**共通の起源を持ちながらも独自の言語として発展した**

スペイン語はラテン語の多くの要素を保持しており、そのため、スペイン語の語彙や文法にはラテン語の影響が見られる。スペイン語の単語の多くはラテン語の起源を持ち、文法の一部もラテン語の特徴を反映している

ラテン語 = ロマンズ語（**スペイン語** **ポルトガル語** **フランス語** **イタリア語** **ルーマニア語**など）に発展

⇒ つまり、スペイン語を学ぶことで、スペイン語以外のロマンス語である、**ポルトガル語** **フランス語** **イタリア語** **ルーマニア語** に近づくことになる

日本語と英語を話せる日本人のことを、バイリンガルと言う
但し、現在ではバイリンガルなんて珍しくも何ともない

これに加え、スペイン語が話せればトリリンガルと呼ばれ、スペイン語を
学ぶことで他のロマンス語、ポルトガル語 フランス語 イタリア語
ルーマニア語 に近づくことになり、この中のどれかを話せるようになれば、
4ヶ国語を話す『マルチリンガル』と呼ばれることになる

スペイン語を話せると、英語も話せるようになる？

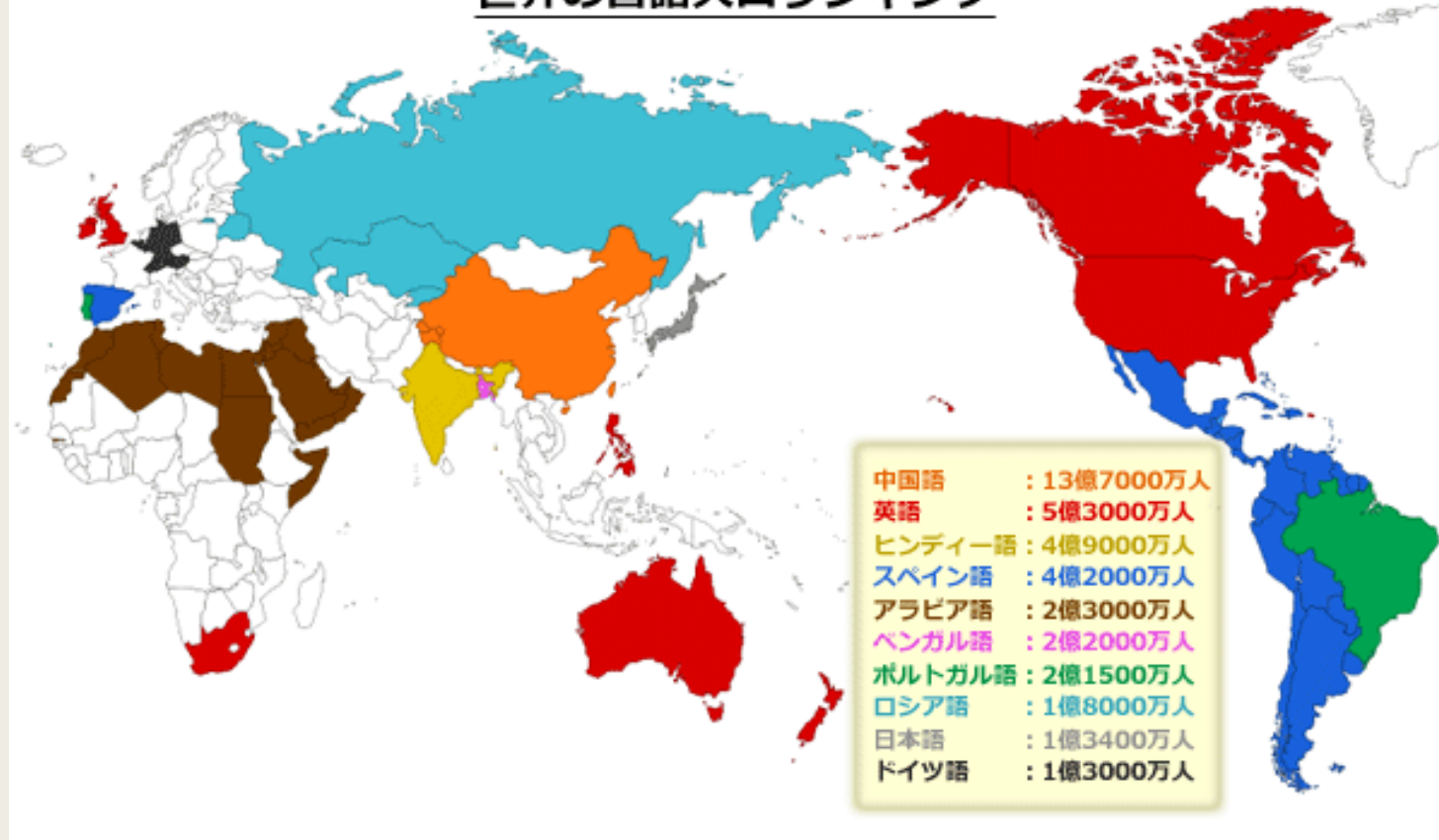
勿論、それだけでは話せるようにはならない。ただ、同じ欧州の言語である
ことから、似ている単語が存在する。

例えば、英語で important インポート と言う単語は、スペイン語だと
importante インポルタンテ であり、それだけで意味が理解出来てしまう

Parte4 第4部

海外旅行・スポーツが好きなら
スペイン語を学ぶべき

世界の言語人口ランキング



日本と世界の統計データ
より抜粋

スペイン **メキシコ** グアテマラ **ホンジュラス** エルサルバドル
ニカラグア コスタリカ **パナマ** キューバ **ドミニカ共和国**
プエルトリコ **ベネズエラ** コロンビア **エクアドル** ペルー **ボリビア**
パラグアイ チリ **アルゼンチン** ウルグアイ **赤道ギニア** 西サハラ



スペイン
サグラダファミリア



スペイン
サン・セバスチャン



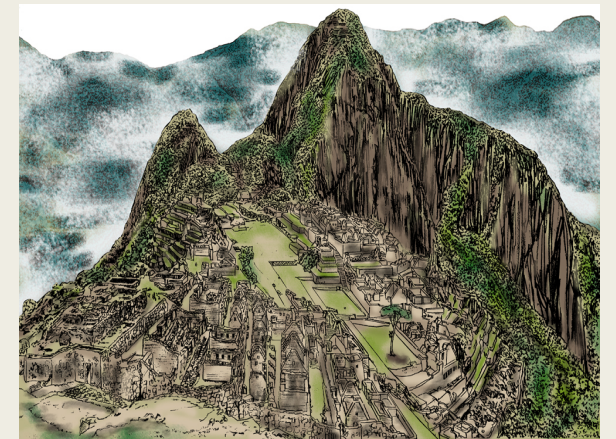
スペイン グエル公園



メキシコ
テオティワカン遺跡



コロンビア カルタヘナ



ペルー マチュピチュ



ボリビア ウユニ塩湖



ブラジル・アルゼンチン
イグアスの滝



エクアドル
ガラパゴス諸島

ここに挙げたのは一部であり、スペイン語圏の国には、魅力的な観光地が紹介しきれないくらい沢山ある

スペイン語圏の国を観光するに当たり、スペイン語を話せると、まず何よりも、**安心して**旅行が出来る スペイン語圏の国では、空港やホテルでは英語は通じるが、それ以外では、**あまり英語が通じない**

少しでもスペイン語を話せる方が、旅行を楽しめる幅が大きく広がり、旅行先の国で話されている言語が分かると、旅行の楽しさ、充実感が格段に上がる

21カ国がスペイン語を公用語としている

⇒ 単純計算で、21カ国を「**より楽しく**」旅行することが出来る

行き先が21カ国もあるということであり、その中で様々な文化や観光地を楽しむことが出来る

スペイン語を話せることで、現地の人とも仲良くなりやすくなり、観光だけでなく会話を楽しむことが出来る

また、詐欺やぼったくりはどの国でも起こり得ること

⇒ スペイン語を話せることで、その被害を未然に防ぐことが出来る

サッカーが好きなら、野球が好きなら、スペイン語を学ぶべき！

これはスポーツが好きな人、サッカーや野球に興味がある人だけにではなく、スペイン語を使って仕事をしたい、という人にも良い話である

日本では野球は国民的スポーツとして人気があり、近年ではサッカーも野球に負けないくらいの人気がある

そして実は、サッカーの世界大会であるワールドカップ、野球の世界大会であるWBCは日本でも大きな話題となったが、実は、この2つの世界大会にもスペイン語が大きく関わっている

グループリーグ組み合わせ

A組 →	B組 →	C組 →	D組 →
 カタール	 イングランド	 アルゼンチン	 フランス
 エクアドル	 イラン	 サウジアラビア	 オーストラリア
 セネガル	 アメリカ	 メキシコ	 デンマーク
 オランダ	 ウェールズ	 ポーランド	 チュニジア
E組 →	F組 →	G組 →	H組 →
 スペイン	 ベルギー	 ブラジル	 ポルトガル
 コスタリカ	 カナダ	 セルビア	 ガーナ
 ドイツ	 モロッコ	 スイス	 ウルグアイ
 日本	 クロアチア	 カメルーン	 韓国

左記は、2022年カタールワールドカップのグループリーグの組み合わせである

出場32カ国中、**6カ国**がスペイン語を母国語とする国であり、日本の対戦3カ国のうち**2カ国**は、スペイン語を母国語とするスペインとコスタリカであった

同じ言語を話す国が**6カ国**も出場しているのは凄いことであり、今後も日本がグループリーグでスペイン語圏の国と対戦する可能性はかなり高い

さらに、出場は叶わなかったが、チリ、コロンビア、ペルー、パラグアイも出場経験豊富な国であり、世界的スポーツであるサッカーは、中南米で人気スポーツであり、スペインのラ・リーガは世界中から名手が集まり人気が高い

つまり、サッカーが好きな人にとって、スペイン語は**切っても切れない関係**にある、ということ

私、宮崎のケースですが、カタールワールドカップで日本のグループリーグ対戦国の3カ国中2カ国が、スペイン語を母国語とするスペインとコスタリカだったこと、そしてアルゼンチンが決勝戦に進出したことにより、**テレビ局関連の仕事**に携わることが出来た

次回大会からは出場国が増えるため、さらに多くのスペイン語を公用語とする国の参加が見込まれる

大会出場チーム

POOL A



チャイニーズ・タイペイ



オランダ



キューバ



イタリア



パナマ

POOL B (東京プール)



日本



韓国



オーストラリア



中国



チェコ共和国

POOL C



アメリカ



メキシコ



コロンビア



カナダ



イギリス

POOL D



プエルトリコ



ベネズエラ



ドミニカ共和国



イスラエル



ニカラグア

2023年3月に行われた野球の世界大会WBCの参加20カ国中、**8カ国**がスペイン語を公用語とする国であった

そして、グループリーグを突破した8カ国中、**4カ国（キューバ メキシコ プエルトリコ ベネズエラ）**がスペイン語を公用語とする国であった

実現はしなかったが、日本の準決勝のメキシコ戦前に、テレビ局関連の仕事の問い合わせがあった

日本のプロ野球界に所属の外国人選手の中にも、**中南米出身選手は多い**